

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおねっと守口(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度に関して、児童が楽しみや安心感をもって通っているかどうかの部分で、たくさんの保護者様より信頼されていることを感じました。	児童の視線に立ちながら、子どもたちが楽しめる活動、事業所でしか体験できない内容などを日々チームとして考え取り組んでいます。	季節ごとの行事の充実化、また、保護者様同士の保護者会の提案と実行などを行うことで、保護者様の不安や悩みなど、誰でも声に出しやすい環境を作っていく。
2	長くご利用して頂いているご利用者様が多いことから、幼少期からの幅広い関わりが何年も続けられているため、児童の特性や今の課題も把握がしやすい。	児童発達、放課後等デイサービス、就労支援とグループで連携しており、児童発達支援から放課後等デイサービスへのつながり、情報の共有を円滑に行っている。	事業所での連携をより強める事と、他事業所との交流会を行う事で、児童に対して幅広い支援の可能性を広げていく。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスで受け入れを行っているため、未就学の方から高校生の方向士の関わりがもてる機会が多い。	スタッフから教える、伝えるだけでなく、年上の児童との関わりももつことで、協力的な関係づくりや年下の児童との接し方により、楽しみを持って相手と過ごせる環境づくりを気を付けています。	できること、出来ないことの個人差はがあるので、本人がより集団活動に参加しやすいイベント、自信や肯定感の向上につながるよう活動を企画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などのイベントが積極的に開催できていない。	定期的な企画やお知らせ、又はアンケートなどでの調査ができていない。	企画の前の保護者様へのアンケートなど、どのようなイベントにニーズがあるかを調査し、その後日程の調整と企画のお知らせを早めに配布するようにする。
2	家族様との交流の場が少ないため、保護者様から見て普段接しているスタッフや児童の様子などが見えづらい。	児童だけでなく、保護者様も参加しやすいイベントの企画と、内容やお知らせの機会が少ない。	児童と一緒に参加しやすいイベントの企画や、家族で参加・体験できる内容を企画する事でスタッフと児童の普段の様子などを知って頂く機会に繋げていく。
3	緊急時の対応、実際に災害が起きた際の事業所での流れなど保護者様からみてわかりにくい。	防災訓練時の様子など、伝わりきれないところの説明が都度できていない。	わかりやすいマニュアルの作成、不安を取り除けるよう、フローチャート等の可視化した事業所での流れ等をお伝えしていく。